

【資料】つくばエクスプレス関連年表

年月	主な出来事
1976(S51) 9月	茨城県 県南県西交通体系調査委員会設置。第1回委員会開催
1978(S53)	県南県西交通体系調査委員会 「茨城県・県南県西地域交通体系整備計画調査」の中で第二常磐線（常磐新線）構想発表
1980(S55) 7月	茨城県「第二次県民福祉基本計画」で、第二常磐線の具体化を図ると明文化
1983(S58)	茨城県 第二常磐線と地域開発に関する調査研究会発足
1984(S59)	7月 茨城県議会に「第二常磐線と地域開発に関する調査研究会報告書」提出
	8月 関係6市町村による第二常磐線建設促進期成同盟会発足 運輸政策審議会での採択をめざして運動予定
	9月 茨城県第二常磐線研究会発足。事業主体など実現に向けた協議実施
1985(S60)	3月 「第二次守谷町振興計画」策定 ・第二常磐線具体化について初めて文言化 ・守谷駅周辺再開発事業について言及 ・守谷東土地地区画整理事業予定地、乙子高野地区住宅開発予定地、野木崎・大木地区工業団地予定地を将来市街化区域編入予定地として位置づけ
	7月 運輸政策審議会「東京圏における高速鉄道を中心とする交通網の整備に関する基本計画について」答申 ・常磐新線について東京～守谷町南部までを昭和75年までに整備すべきとして提示
	9月 県内常磐新線促進組織を一本化して茨城県常磐新線等整備促進期成同盟会設立
	11月 県・町共同で常磐新線守谷ターミナルとまちづくり懇談会設立
	12月 1都3県知事による常磐新線建設促進関係都県連絡協議会設置
1986(S61)	1月 運輸省と関係都県による常磐新線整備検討会発足
	2月 守谷町議会「これからのまちづくり講演会」開催（常磐新線整備とまちづくりについての勉強会） 沿線市町で常磐新線建設促進都市連絡協議会結成
	9月 守谷町議会 市街地整備基本計画策定委員会開催
1987(S62)	3月 常磐新線とまちづくりシンポジウム及び守谷町常磐新線建設促進大会開催。県知事に対して新線早期建設について決議文提出
	9月 運輸省、1都3県、JR東日本による常磐新線整備検討委員会設置
1988(S63)	4月 昭和63年度予算で常磐新線対策基金創設（初年度は1億円の積立）
	6月 多極分散型国土形成促進法制定（大都市地域での宅地開発及び鉄道新線建設の一体的推進の必要性を定める） 総合土地対策要綱閣議決定 市街地整備基本計画策定
	11月 常磐新線整備検討委員会「常磐新線整備方策の基本フレーム」発表
	1989(H1) 1月 常磐新線沿線自治体長により自治大臣・運輸大臣・建設大臣に対し、常磐新線早期着工陳情
1989(H1)	2月 守谷町常磐新線協議会発足
	4月 平成元年度予算で、守谷駅周辺整備に3,860万円の委託料（守谷駅周辺整備事業に係る施行区域の検討、現況測量、基本計画、事業計画等の各種調査）、常磐新線対策として基金を増額（2億7,489万円を予算化）。 常磐新線検討室（1都3県、日本鉄道建設公団）設立。
	6月 大都市地域における宅地開発及び鉄道整備の一体的推進に関する特別措置法（通称「宅鉄法」）制定
	8月 常磐新線構想第1回地元アンケート調査実施（対象：守谷駅周辺地区住民）
	11月 常磐新線第1回地元説明会（4地区説明会） 常総線守谷駅を常磐新線とのターミナル駅として整備、ターミナル駅周辺地区を新しい守谷の中心拠点として、守谷のシンボルとなる魅力に富んだ地区に整備するとのアンケート結果などを説明

【資料】つくばエクスプレス関連年表

年月	主な出来事	
1990 (H2)	4月	平成2年度予算で常磐新線対策に2億8,649万7千円、守谷駅周辺整備に1億673万7千円を計上（常磐新線整備事業主体設立出資金：5千万円、基金：2億2,421万1千円、車両基地確保調査費：1千万） 常磐新線建設促進総決起大会（常磐新線促進都市連絡協議会主催、於浅草公会堂）
	5月	守谷駅周辺地区整備事業第1回地権者代表会議開催
	6月	常磐新線建設促進議員連盟結成
	12月	常磐新線検討室改組 常磐新線第3セクター設立準備室設立
1991 (H3)	2月	守谷町常磐新線協議会発足（第1回協議会開催）
	3月	常磐新線第3セクター 首都圏新都市鉄道(株)設立（資本金14億円・町出資比率1.6%）
	4月	鉄道整備基金法制定 平成3年度予算で、常磐新線の株主として出資金1億6千万円、基金2億円、守谷東特定土地地区画整理事業補助金9,500万円・町単独負担金9,000万円（地盤改良と盛土工事実施）
	5月	大柏地区常磐新線対策協議会から守谷町議会あてに、常磐新線整備の地下方式施工請願書提出 第2回守谷町常磐新線協議会開催
	9月	1都3県共同申請による常磐新線基本計画策定
	10月	1都3県共同申請による常磐新線基本計画承認
	11月	守谷町議会が首都圏新都市鉄道(株)に「全線地下方式による早期路線決定」要望
1992 (H4)	1月	首都圏新都市鉄道(株) 第1種鉄道事業免許所得
	4月	鉄道整備基金による大都市鉄道にかかる無利子貸付枠251億円決定
	9月	常磐新線プロジェクト研究会設立
1993 (H5)	1月	常磐新線秋葉原～新浅草間工事施工認可 谷和原村・守谷町・茨城県による「常磐新線車両基地周辺整備計画」報告策定
	2月	守谷町将来構想素案説明会開催。常磐新線、都市軸道路等の報告
	4月	守谷駅前相談所開設（守谷駅周辺地区及び常磐新線等に関する相談窓口）
	8月	常磐新線関連都市計画案地元説明会開催
	9月	守谷駅周辺一体型土地地区画整理事業計画公聴会開催 常磐新線基本計画承認 守谷駅周辺一体型土地地区画整理事業計画承認
	10月	守谷町大柏地区常磐新線対策協議会から町議会あて陳情書提出（地下方式の採用）
	11月	守谷東特定土地地区画整理事業組合から「新線計画、都市軸道路、駅周辺事業及び関連都計道路等との一体整合計画に合致した事業計画変更の認可取得のため、早期都市計画決定を」とする町議会あて請願書提出
1994 (H6)	1月	常磐新線守谷～伊奈谷和原間工事施工認可
	2月	常磐新線守谷～伊奈谷和原間の建設について工事実施計画指示
	3月	区域区分及び用途地域変更（守谷駅周辺一体型土地地区画整理事業区域の市街化区域編入）、都市高速鉄道決定（常磐新線）、都市計画道路（大柏野木崎線延長・守谷停車場法花坊線廃止）変更、守谷駅周辺一体型土地地区画整理事業都市計画決定告示
	6月	常磐新線プロジェクト推進協議会設立
10月	常磐新線建設起工式（秋葉原）	
1995 (H7)	2月	常磐新線新浅草～六町間工事施工認可 守谷町あて東口改札口設置請願書提出 守谷駅周辺一体型土地地区画整理事業認可、事業計画決定
	3月	守谷町議会まちづくり対策特別委員会 東口改札口設置請願採択

【資料】つくばエクスプレス関連年表

年月	主な出来事	
6月	守谷町議会定例会 東口改札口設置要望決議（議員提案）	
	守谷町議会 県知事あて東口改札口設置に関する要望書提出	
	守谷町，議会合同で新線会社に東口改札口設置要望	
	谷和原村筒戸地内で常磐新線車両基地（守谷車庫）安全祈願祭開催	
7月	常磐新線新浅草～都県境間都市計画決定	
9月	守谷駅周辺一体型土地区画整理事業地盤改良工事起工式	
10月	守谷駅周辺一体型土地区画整理事業第1回土地区画整理審議会	
1996 (H8)	1月 常磐新線・都市軸道路の測量・地質調査実施（都市計画道路守谷・伊奈・谷和原線）	
	2月 茨城県が宅鉄法による常磐新線基本計画変更申請（島名駅構造） 常磐新線六町～三郷中央間工事施工認可	
	3月 守谷町商工会調査事業「常磐新線乗り入れ及び駅周辺整備事業に伴う中小商業活性化事業報告」策定	
	4月 町行政組織変更（常磐新線推進部設置・総務部・保健福祉部の組織変更）	
	5月 常磐新線埼玉県内区間都市計画決定（六町～三郷中央間）	
	7月 第1回守谷駅周辺まちづくり懇談会開催	
	10月 新線会社による常磐新線整備計画見直し（開業遅延・建設費増嵩）決定	
	12月 常磐新線 北園・土塔地区用地測量開始 常磐新線整備計画見直し概要公表（新聞各紙掲載など）	
	1997 (H9)	1月 常磐新線小貝川橋梁下部工事安全祈願祭，工事着工
		2月 常磐新線等守谷・伊奈・谷和原議会連絡会研修会で，首都圏新都市鉄道(株)常務講演
3月 守谷町議会定例会全員協議会で，常磐新線整備計画の見直しについて，首都圏新都市鉄道(株)常務説明 守谷町議会定例会で，開業遅延と建設費の増嵩に関する，首都圏新都市鉄道(株)への要望事項を決議		
4月 町行政組織 常磐新線推進部・都市整備部を統合 常磐新線市町村推進協議会（会長つくば市長）が守谷町議会決議書を添付し，県知事に「常磐新線整備計画の見直しに関する要望について」提出		
5月 守谷町・議会合同で新線会社を訪問。議会決議文を社長に手渡し，今後の対応を要請		
7月 常磐新線ルート表示板設置（町内10箇所） 常磐新線用地大柏地区用地測量開始 1都3県が宅鉄法による常磐新線基本計画変更申請		
10月 常磐新線三郷中央～南流山間及び流山運動公園～流山新市街地間工事施工認可		
1998 (H10)		1月 常磐新線流山市内区間都市計画決定
		2月 千葉県常磐新線及び宅地開発の一体的推進協議会設立
		4月 常磐新線沿線まちづくりシンポジウム開催（八潮市）
	5月 都市軸道路安全祈願祭（赤法花）	
	9月 常磐新線秋葉原駅工事安全祈願祭，工事着工	
	12月 常磐新線流山新市街地～守谷間工事施工認可	
1999 (H11)	1月 常磐新線大柏高架橋起工式	
	3月 常磐新線伊奈谷和原～つくば区間工事施工認可 常磐新線柏市内区間都市計画決定	
	6月 常磐新線土塔高架橋工事 常磐新線つくば市内区間都市計画決定	
	10月 東京都 秋葉原地区まちづくり推進委員会発足	
	1999 (H11) 12月 常磐新線イメージづくり調査委員会発足（委員長：黒川洸東京工大大学院教授）	

【資料】つくばエクスプレス関連年表

年月	主な出来事	
2000 (H12)	1月	運輸政策審議会「東京圏における高速鉄道を中心とする交通網の整備に関する基本計画について」答申 (常磐新線について、今後東京駅延伸を検討すべきとされた)
	3月	常磐新線つくば駅及び守谷駅工事着工
		秋葉原地区まちづくり推進検討委員会中間とりまとめ発表 (常磐新線沿線は広域300万人の後背地人口を抱えるターミナル地区であり、守谷は広域生活拠点の位置づけとされた)
		ミレニアムシンポジウム 新線と21世紀の街づくり開催 (つくば市)
	7月	常磐新線南流山～流山運動公園間工事施工認可。これにより全線工事施工認可
	8月	首都圏新都市鉄道(株) 新線名及び沿線地域名公募
	9月	守谷町・議会合同で運輸省鉄道局長及び新線会社を訪問、議長名の要請書を手渡し、平成17年開通の実現を要請
守谷町議会定例会建設常任委員会で町が守谷駅駅前広場整備計画(案)を説明		
10月	守谷駅駅前広場基本計画(案)公開及び意見募集	
2001 (H13)	2月	常磐新線名称「つくばエクスプレス」決定
	7月	日本鉄道建設公団関東支社守谷鉄道建設所が、組織改正により守谷町・伊奈町・谷和原村の範囲担当となる
	12月	つくばエクスプレスシンボルマーク、ロゴタイプが決定
つくばエクスプレスレール発進式		
2002 (H14)	2月	つくばエクスプレス守谷駅原案公表(広報もりや)
	4月	都市軸道路(仮称)守谷トンネル工事開始
守谷駅周辺一体型土地区画整理事業区域及び守谷東特定土地区画整理事業区域内住所表示決定「中央・ひがし野」		
2003 (H15)	4月	つくばエクスプレス車両基地に車両到着
		つくばエクスプレス車両一般展示会
	8月	つくばエクスプレス駅前広場 記念陶板作り参加者募集
2004 (H16)	3月	つくばエクスプレス実車走行試験開始(守谷駅～みどりの駅)
	5月	つくばエクスプレスレール締結式
	8月	つくばエクスプレス親子見学会
		つくばエクスプレス架線接続式(大柏地区)
	9月	つくばエクスプレス レールウォーク守谷大会
	12月	広報もりやで「つくばエクスプレス TX情報」連載開始(～H17.7)
市民に対する詳細な情報提供開始 守谷東特定土地区画整理事業の換地処分。住所表示設定「ひがし野一丁目～三丁目」		
2005 (H17)	2月	首都圏新都市鉄道(株)がつくばエクスプレスキャラクター「スピーフィー」及び開業日発表
	3月	首都圏新都市鉄道(株) 快速停車駅やダイヤなどの運行計画概要発表
	4月	守谷駅自由通路出入口名称決定「中央東口、八坂口、中央西口、土塔口」
	5月	つくばエクスプレス カウントダウンイベント開催(つくば国際会議場)
	6月	つくばエクスプレス時刻表発表
	7月	守谷駅東自転車駐車場使用開始
		脱線事故を想定した総合復旧訓練実施
		つくばエクスプレス守谷駅舎見学会
8月	つくばエクスプレス一般試乗会	
	都市軸道路開通式(守谷トンネル下り線開通)	
2005 (H17)	8月	都市高速鉄道つくばエクスプレス開業(8月24日 つくば～秋葉原)
		つくばエクスプレス開業記念イベント きらめき守谷夢彩都フェスタ2005開催

【資料】つくばエクスプレス関連年表

年月	主な出来事
	守谷駅西自転車駐車場使用開始
	9月 つくばエクスプレス守谷駅構内に「TX AVENUE」オープン
2006 (H18)	8月 つくばエクスプレス開業1周年記念イベント きらめき守谷夢彩都フェスタ2006開催。以後、毎年市民実行委員会主催により継続開催
	都市軸道路守谷トンネル（上り）開通。記念イベント守谷トンネルウォーク開催
	12月 守谷駅前クリスマスイベント開催
2007 (H19)	4月 守谷市景観計画及び守谷市景観法の施行等に関する条例施行
2010 (H22)	2月 守谷駅周辺一体型土地区画整理事業換地処分。区域内住所表示設定「中央一丁目～四丁目」
	3月 都市軸道路 大柏地内一部及び松並～つくばみらい市成瀬区間開通
2011 (H23)	1月 都市軸道路 大柏地内一部区間開通